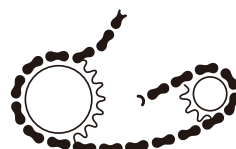


# 二輪車用ドライブチェーン取扱説明書

「チェーンは重要保安部品です。この取扱い説明書を必ずお読み下さい。」

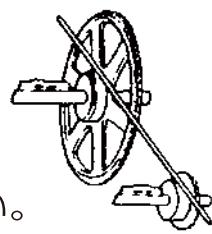
## 1) 警告

- チェーン選定時の注意  
車種に適合しないチェーンの使用は走行中に破断するなどの死亡事故につながる原因になり危険です。ご自分の車種に適合したチェーンを、「車種適合表」より選定してご使用下さい。
- 本製品は、通常のスポーツライディングを前程に設計、生産されております。高出力な特殊改造車両による競技（ドラッグレース、オープンクラスレース等）での酷使につきましては、指定排気量範囲内であっても、トラブル発生時に保証が出来ませんので御了承下さい。
- チェーンはバッテリー液などの酸性溶液が付着すると破断し、重大な事故の原因となります。万一、付着した場合は速やかに廃却して必ず新しいチェーンに交換して下さい。
- 走行中、チェーンを絶対に金属の部品に接触させたり擦ったりさせないで下さい。破断の原因となり危険です。



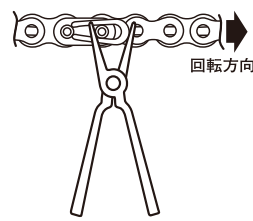
## 2) 注意

- チェーンの洗浄にはガソリン、灯油、防錆潤滑剤などの揮発性溶剤を絶対に使用しないで下さい。チェーンのシールが痛み、寿命が短くなってしまいます。チェーンの洗浄には必ず専用の「RK純正チェーンクリーナー」をお使い下さい。
- チェーンの部品に以下の加工を加えないで下さい。チェーンの強度を低下させ破断の原因になります。
  - ①高熱を加えたり、溶接をおこなわない。
  - ②伸びたチェーンの切り詰め、継ぎ足しをおこなわない。
  - ③一度抜いたピンは再使用しない。
- チェーン取付の際、前後のスプロケットの面が同一線上に来るように調整を行って下さい。ずれているとチェーンが偏摩耗したり、伸びたりして破断の原因になります。
- ジョイントはチェーンの重要部品です。次の事項を厳守して下さい。
  - ①クリップタイプジョイントのクリップの装着はプライヤーを使



って、チェーン進行方向に閉じた方が来るようにセットして下さい。

- ②ジョイントプレートの孔をドリルなどで拡大しないで下さい。
- ③カシメタイプジョイントは必ず専用工具を使用して取付けて下さい。
- ④ジョイントはチェーン本体と同じ銘柄の物を使用して下さい。
- ⑤チェーンを再装着する場合は必ず新品のジョイントを使って下さい。



## 3) 交換時の注意

- 安全で平たんな場所で車両をスタンド・アップして下さい。
- 安全確保のため、必ずエンジンを停止しキーを外して下さい。
- チェーンとスプロケットの間に手を挟まれないよう、不用意に後輪を回したり、第三者に回されない様に注意して下さい。

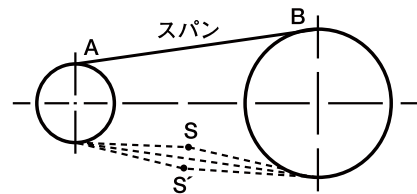


## 4) 交換の手順

- チェーンは、古いチェーンのジョイントを、プライヤーなどをつかってクリップを外し、切り離して下さい。ジョイントの無いチェーンやカシメタイプジョイントは専用工具で切り離して下さい。
- 切り離したチェーンはすぐに車体から外さないで下さい。
- 切り離したチェーンの端に、交換する新しいチェーンをジョイントで仮つなぎして下さい。
- 古いチェーンの一方を引きながら、新しいチェーンを前方スプロケットへ送り込んで下さい。
- 仮つなぎ部分が手元に戻りましたら、古いチェーンを取り外して下さい。新しいチェーンの長さをご自分の車両に合せ、切断して下さい。
- 新しいチェーンの両端を、付属のジョイントで図の様に、プライヤーなどを用いて組付けて下さい。カシメタイプジョイントの場合はRKのカタログ手順を参照し専用工具で組付けて下さい。

## 5) チェーンは消耗品です。正しい保守と点検が必要です。

- チェーンはその車のマニュアルに従い、適正なたるみを持たせて下さい。  
張り過ぎは早期の伸び、たるみ過ぎはスプロケットからの脱落、とそれぞれ破断、事故の原因になります。
- ワイヤーブラシでの洗浄はシールチェーンのシールリングを傷つけ、劣化させますので、絶対使用しないで下さい。
- シールチェーンのシールリングが一箇所でも欠落すると、その部分に摩耗



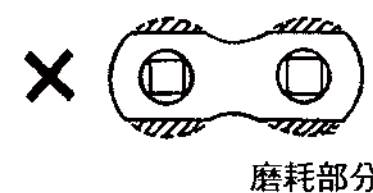
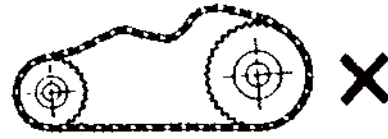
(伸び)が集中し、チェーンの寿命を縮めます。シールリング欠落の有無を絶えず点検して下さい。

- チェーンには潤滑が必要です。500~1000km走行毎に、「RK純正チェーンルブ」をローラ、プレートとプレート間にスプレーして下さい。  
揮発性の潤滑油はシールリングを傷めるため、シールチェーンには絶対使用しないで下さい。

※当社指定以外のケミカルを使用してチェーンに不具合が生じた場合は、品質保証の対象外となる場合がございます。

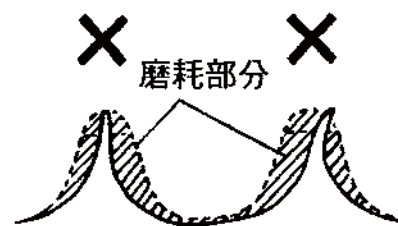
## 6) チェーン交換時期は乗る人、乗り方、道路状況、気象状況、手入れの仕方などでそれぞれ異なり、走行距離数では表示が困難です。安全の為にチェーンが次の状態になった場合は必ず交換して下さい。

- ①リンク（つなぎ目）が固着を起こし、チェーンが波形になっている場合。
- ②固定されている筈のピンが、回ってしまっている場合。
- ③チェーンが伸びて、アジャスターでの調整が出来なくなった場合。
- ④金属的な大きな音がする場合。
- ⑤ピンを中心として、プレートに傷を発見した時。
- ⑥シールチェーンのシールリングの欠落を発見した場合。
- ⑦プレートが摩耗してヒョウタン型のクビレがほとんどなくなった場合。



磨耗部分

- 7) チェーンの交換時期はスプロケットの交換時期でもあります。スプロケットの歯が、瘦せていたり波状になっている場合はもちろん、少し段がついた程の減りであっても、新しいチェーンがきちんと噛み合って駆動しなければ、寿命が短くなる上、結局スプロケットを換える事になります。  
チェーン交換の際は、必ず前後のスプロケットも新品に交換して下さい。



磨耗部分

\*以上の事項を正しく守り、快適で安全な走行をお楽しみ下さい。尚、不明な点がございましたら下記へお問い合わせ下さい。

アールケー・ジャパン株式会社

問い合わせ先：0120-127-254



外装：PP  
内装：PE